

ICカードによる連絡定期券の発売開始について

南海電鉄では、IC定期券サービスを拡大し、大阪市交通局と阪神電車、阪急電鉄、京阪電車とのIC連絡定期券を発売し、鉄道利用のさらなる利便性向上とICカードの利用拡大を図ります。

1. 発売開始日

平成30年4月1日（日曜日）

2. IC連絡定期券の発売範囲（※現在、磁気定期券で発売している範囲と同じ）

- (1) 大阪市交通局との連絡定期券
 - ア、なんば接続：「発売範囲図」①-1 参照
 - イ、天下茶屋接続：「発売範囲図」①-2 参照
 - ウ、なかもず接続：「発売範囲図」①-3 参照
- (2) 阪神電車との連絡定期券
大阪市交通局なんば-梅田接続：「発売範囲図」②参照
- (3) 阪急電鉄との連絡定期券
大阪市交通局なんば-梅田接続：「発売範囲図」③参照
- (4) 京阪電車との連絡定期券
大阪市交通局なんば-淀屋橋接続：「発売範囲図」④参照

3. 実施サービス概要

- (1) 対象カード
「ICOCA」、各種「PiTaPaカード」
※記念ICOCA（印字できないカード）、SMART ICOCAおよびKIPS ICOCAは除きます。
※IC定期券機能非対応のPiTaPaカード（印字スペースのないカード）は除きます。
- (2) 発売券種
通勤定期券「大人」および通学定期券「大人・小児」（それぞれ1か月、3か月および6か月）
※障がい者割引定期券および実習用通学定期券は対象外です。
- (3) 適用運賃
各事業者の定期旅客運賃を適用（磁気定期券と同額）
- (4) 発売箇所
南海電鉄の定期券発売窓口および定期券発行機能付き券売機（主要駅のピンク色券売機）
※通学定期券（新規）は定期券発売窓口のみで発売します。
※小児用ICOCA（こどもICOCA）をお持ちでない場合は、定期券発売窓口のみで発売します。
※ICOCAをお持ちでない場合は、別途デポジット（カード預り金）500円が必要です。
※定期券の区間・経路・券種によっては、購入できない場合があります。
※南海電鉄以外の事業者の定期券購入箇所は各事業者にご確認ください。

4. その他

発売開始日以前に購入された磁気連絡定期券を、ICOCA連絡定期券・PiTaPa連絡定期券へ変更することも可能です。

（ただし、購入方法、取り扱うICカード等によっては変更できない場合があります）

※「ICOCA」は、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※「PiTaPa」は、株式会社スルッとKANSAIの登録商標です。

大阪市交通局—南海電鉄 連絡定期券 発売範囲 【なんば接続】



凡例

【定期区間】
 大市交 —— 南海 ==

【接続駅】

※区間・経路・券種によっては、発売できない区間があります。

大阪市交通局—南海電鉄 連絡定期券 発売範囲 【天下茶屋接続】



凡例

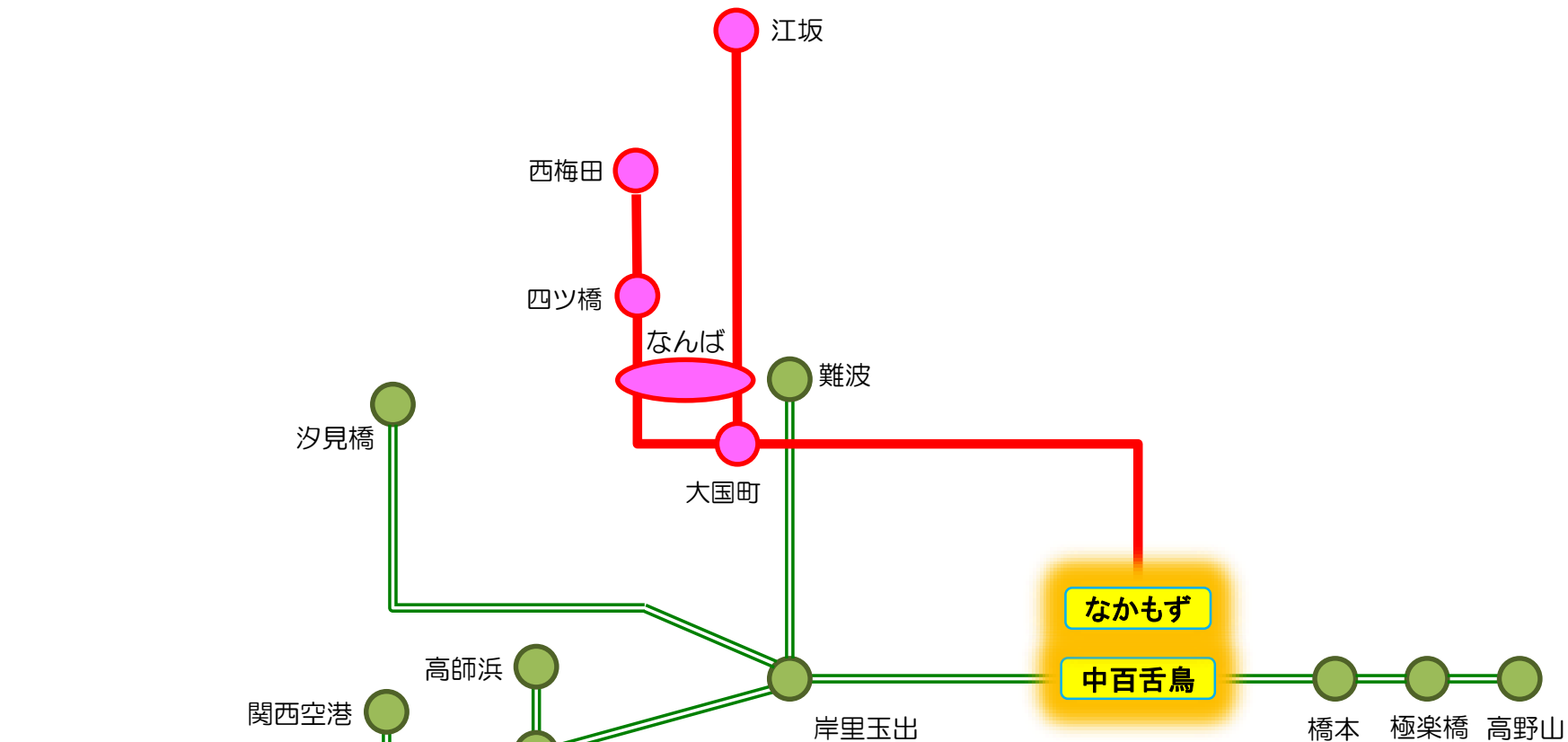
【定期区間】

大市交 — 南海 =

【接続駅】

※区間・経路・券種によっては、発売できない区間があります。

大阪市交通局—南海電鉄 連絡定期券 発売範囲 【なかもず接続】



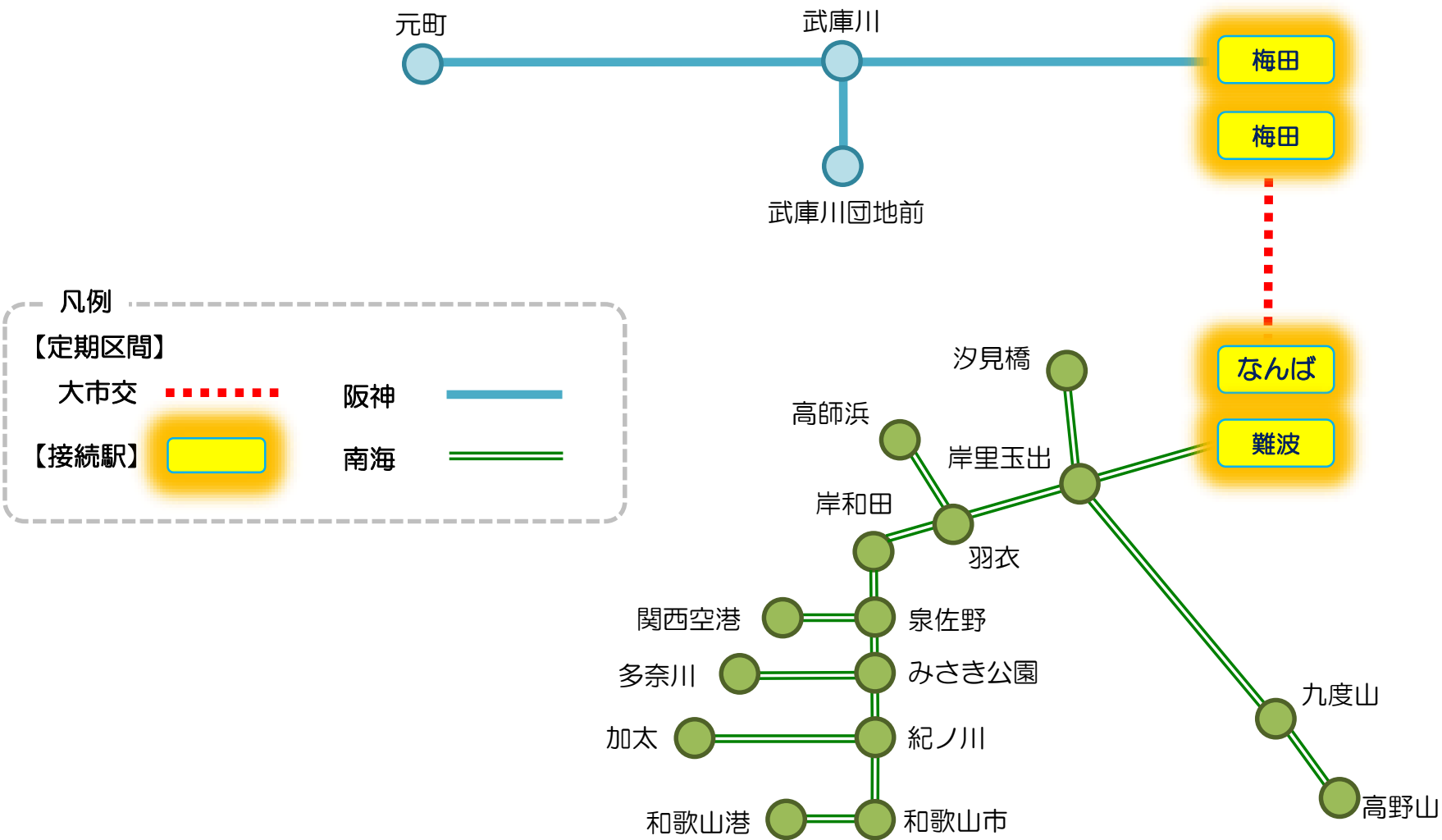
凡例

【定期区間】
 大市交 — 南海 ==

【接続駅】

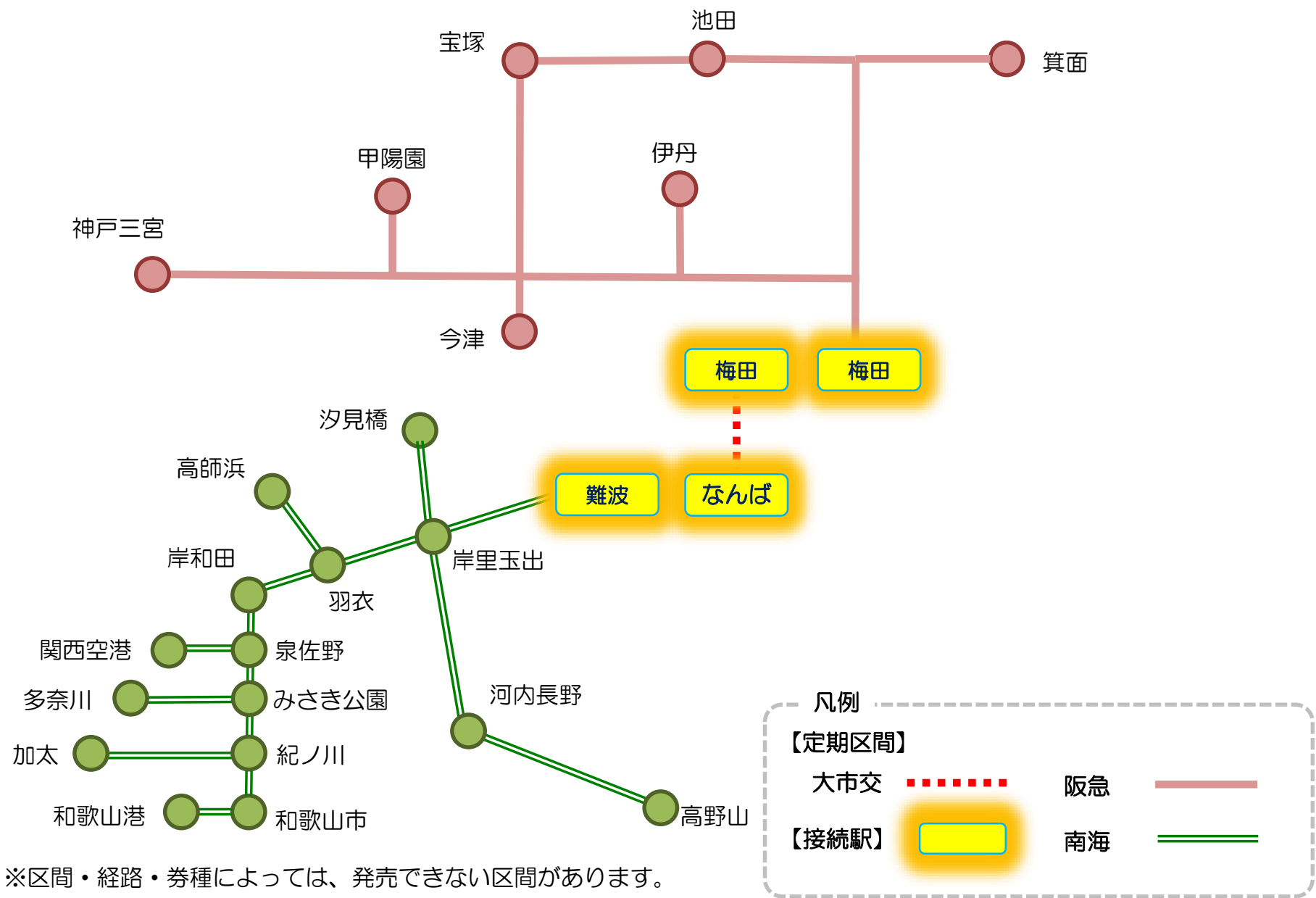
※区間・経路・券種によっては、発売できない区間があります。

阪神電車—南海電鉄 連絡定期券 発売範囲 【大市交 梅田—なんば 接続】



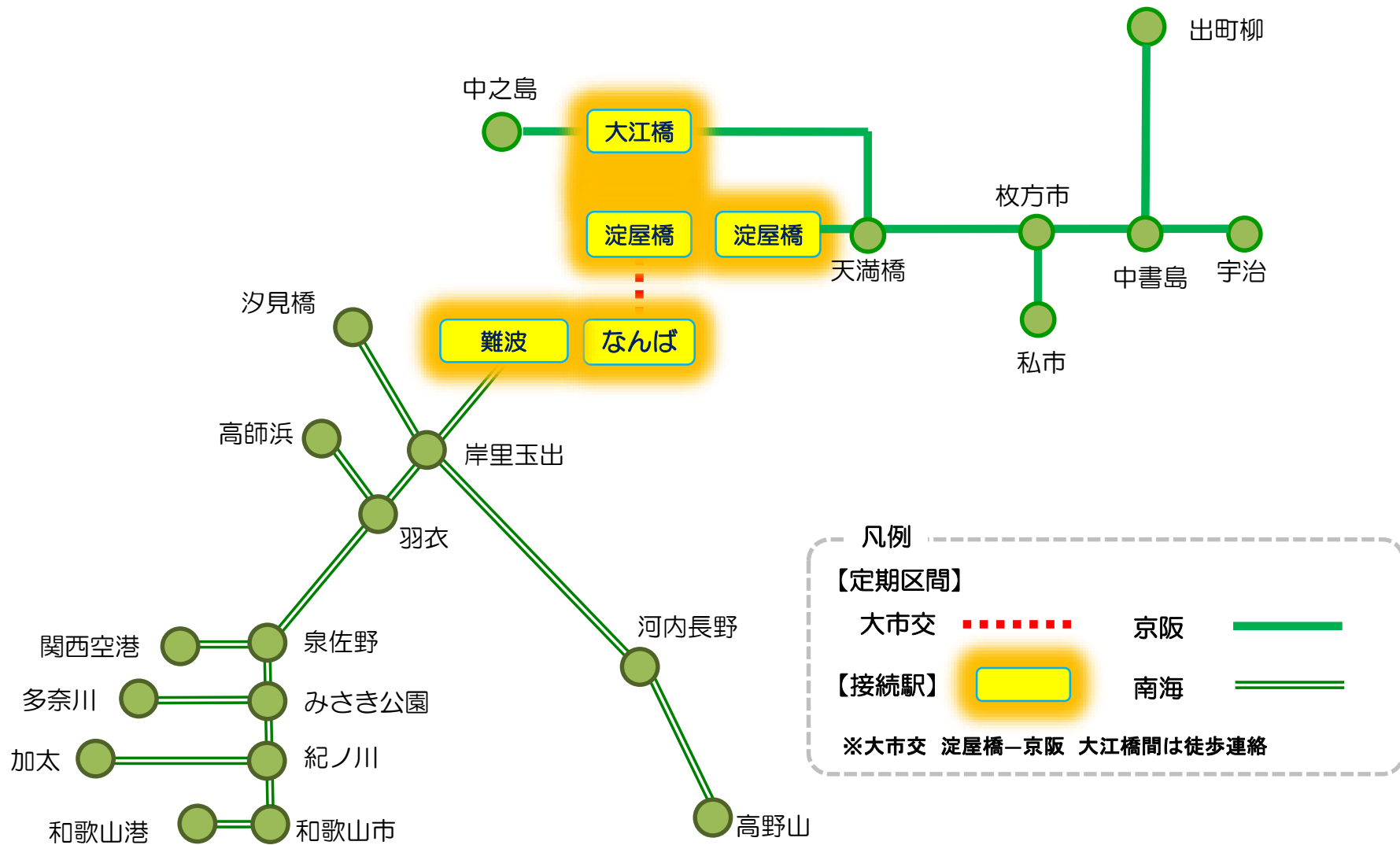
※区間・経路・券種によっては、発売できない区間があります。

阪急電鉄—南海電鉄 連絡定期券 発売範囲 【大市交 梅田—なんば 接続】



京阪電車—南海電鉄 連絡定期券 発売範囲

【大市交 淀屋橋—京阪 大江橋—なんば 接続】



※区間・経路・券種によっては、発売できない区間があります。